

病院らしくない病院

「生命を大切にすることとはどんなことだと思いますか？」

それは延命をはかるだけの医療ではなく、生命をとりまく環境や人と人とのつながり、人間の尊厳を重視し、大切にすることだと思います。

へつぎ病院の形や色のつくり方は、そうした生命をとりまく環境”を表しています。

1階のあたたかいベージュは“大地”のイメージ。その上に緑の庭園があり、黄や赤と戸次の街並みの白い蔵を再現したテラスハウスがつづいています。

病院は、患者さんが暮らす一時的な“家”だという考えから、へつぎ病院は、“病院らしくない病院”としてつくりあげました。

- 癒しの環境づくり
- 人に優しい自然に優しい環境づくり
- 医療の変化に対応できる環境づくり
- 地域に開かれた病院づくり
 - ① 地域の安全地帯
 - ② 地域への文化の発信基地



待合室からも庭を眺めることができる



1F 総合受付



1F ミニギャラリー



2F カフェテリア



病室の戸外に庭がつづく



あかるい中庭

■救急

充実した設備と訓練されたスタッフが、骨折、呼吸不全、脳血管障害、循環器疾患等の救急患者を受け入れています。



急性期病院を目指して

- 二次救急病院指定 (2000.4)
- 開放型病院承認 (2002.10)
- DPC対象病院 (2008.7)
- 日本医療機能評価機構認定／ver.5 (2009.1)
- 卒後臨床研修(管理型・協力型)病院 (2004.10)

■外科手術

常勤外科医が4名で、一般外科、特に消化器を中心に乳腺、甲状腺、呼吸器の良悪性疾患及び各種ヘルニア、下肢静脈瘤等で、治療は鏡視下手術から縮小手術、更には拡大手術まで適応により選択。



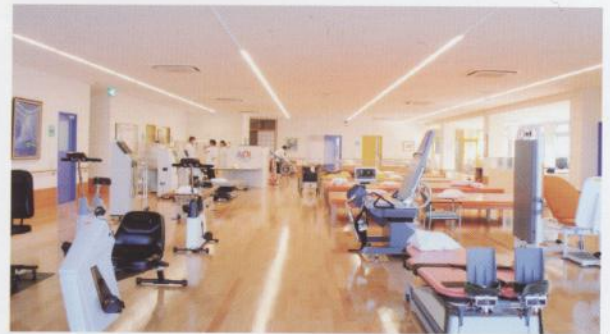
■透析センター

2009年7月に透析センターを移転。合併症予防やシャント術も行っています。



■リハビリテーション室

整形外科疾患や脳血管疾患が大部分を占めています。早期リハビリテーションから在宅復帰支援(生活指導、住環境の整備等)に至る、幅広いリハビリテーションサービスを提供。



■バイオクリーンルーム

人工関節・人工骨頭置換術、脊椎手術では、高い清浄度が要求されます。NASA基準でクラス100をクリアしている第一手術室で、呼吸排気装置(いわゆる宇宙服)を着用して、これらの手術をおこなっています。



■腎・尿路結石破碎装置

2005年5月より体外衝撃波による腎・尿路結石破碎装置を導入。ダイレックス社製のコンパクトな器械です。



■シーメンス社製の1.5テスラの高性能MRI

